



発行責任者 病院長 岡野友宏
編集責任者 広報委員長 高橋浩二
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1 TEL 03-3787-1151
ホームページ: <http://www.senzoku.showa-u.ac.jp/>

—患者さまの安心と安全のために—

歯科麻酔科・科長 吉村 節

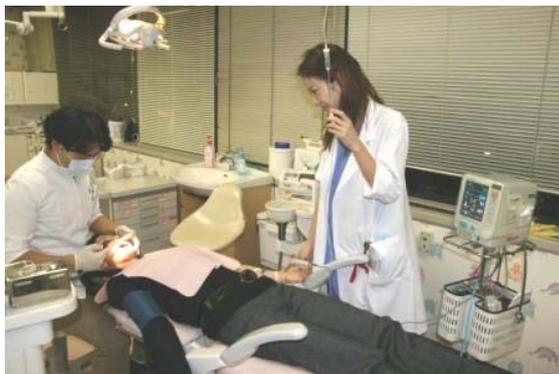
「歯科麻酔科」という言葉はあまり聞いたことが無いかもしれません。我々、歯科麻酔科は手術室での麻酔や、外来(抜歯・虫歯の治療など)で麻酔をかけるのが仕事です。歯医者さんの麻酔とい



手術室での麻酔科管理症例

えば、お口の中にブスッと注射(局所麻酔)する麻酔を思いおこされる方が多いのではないのでしょうか。しかし麻酔にもいろいろな種類があり、大きく分けると全身麻酔と局所麻酔があります。そして、その他に精神鎮静法という麻酔法があります。

局所麻酔は治療する部分(歯や歯グキ)の痛みを取り除くことができますが、精神的な苦痛を取り除くことはできません。精神鎮静法(静脈内)は腕に点滴をし、その点滴から気分が楽になるお薬を入れて、リラックスして眠くなった状態で治療をう



外来での麻酔科管理症例

ける方法です。局所麻酔だけでは難しい手術、あるいは歯科治療が特に苦手で、地域の開業医さんで治療が難しいといわれた患者さまにも安心して治療を受けていただくことができます。



また院内の患者さまの急変時にも積極的に対応しており、治療中に突然具合が悪くなった場合でも即座に対応できるように準備しておりますので、安心して治療がうけられます。AED(自動体外式除細動器)の普及など院内の救急講習会の開催に関わり、職員の救急対応の技能向上にも協力しています。

縁の下の力持ちとなって患者さま、みなさまのお役に立てればと思っています。



院内の救急講習会



AED(自動体外式除細動器)

歯科麻酔科 紹介

昭和大学歯科病院歯科麻酔科は昭和53年に現教授である吉村節が東京医科歯科大学歯科麻酔科より赴任し、医局員 2名で開設されました。現在は教授1名、講師2名、助教3名(うち1名は北部病院出向中)医員6名(一部は昭和大学北部病院・藤が丘病院にて研修中)、大学院生2名で構成されていて外来を含めて年間1000件以上の麻酔管理を行っています。従来は口腔外科を中心とした手術室内での全身麻酔、静脈内鎮静法が中心でした。しかし近年、一般的な歯科治療や小児・障害者歯科外来での静脈内鎮静法症例が特に増加しています。おおくが様々な理由で地域の開業医院で治療ができず麻酔管理が必要な患者さまです。麻酔管理依頼の多い日は2F



の手術室(4台)から各階の外来に医局員が伺って麻酔を行っています。他にも慢性疼痛の患者さんに対してSGB(星状神経節ブロック)を施行したり、院内の安全管理の一環として当院内の救命救急講習会にも協力させていただいています。また昭和大学横浜市北部病院ではICU(集中治療室)での口腔ケアにも参加させていただいています。歯科でも麻酔・全身管理の重要性は増すばかりとなっていますが、科長吉村を中心に医局員一同「患者さまの安心と安全のために」これからも努力していきます。

(歯科麻酔科 藤原 広)

手術室 紹介

歯科病院手術室は2階にあり、職員以外立ち入り禁止表示の自動ドアの中で、私たちは勤務しています。手術室には大・小手術室、歯科治療用椅子(特注品!)がある外来手術室があります。全身麻酔や静脈鎮静法による年間600件ほどの手術が行なわれます。手術室内の環境をクリーンに保つべく、室内では、専用ユニフォームに着替えま



す。マスクとキャップもユニフォームのひとつ。ピンク色着用が私たち看護師4名です。写真には写っていませんが、サプライ(器具の消毒)や清掃のスタッフを含め手術室は多くの職種が連携、協力してなっています。

入院中の手術を受けられる患者様へは、なるべく前日にお部屋へ訪問するようつとめています。うかがったお話は手術室へいらしてから患者様のお役に立てるようにしています。

「手術をする」といえば、受けられる方々の緊張はどれほどでしょうか。少しでもお気持ちを和らげていただくよう日々努力を行なっています。

(看護師 石橋 真由美)

栄養科 紹介

栄養科事務所は地下1階・調理室は病棟がある2階にあります。現在栄養士3名(管理栄養士1名)・調理師1名・調理補助員1名の構成で3勤務制にて業務をおこなっております。主に病床数22床の患者様の献立作成・食材の発注・調理業務等を行っています。医師の指示のもと、一般食・治療食の食種別のほか、常食・きざみ食・ソフト食・ミキサー食等の形態別に患者様の症状にあわせた食事を提供しております。

衛生面は勿論の事、保温保冷配膳車の使用により適温給食を実施しています。お正月やクリスマス等の時には、メッセージカードを食事と一緒にお付けして、少しでも季節や行事を感じて頂く様にしております。嗜好調査の結果をもとに、患者様の意見を反映する事で、要望に添える食事を提供して行きたいと心がけています。

週に1回、NST(栄養サポートチーム)の1員として、入院中の体重や血液データを参考に患者様の栄養管理を行っています。入院患者様や医師からの要望により、退院後の食事の調理法や栄養のバランス、栄養が不足しがちな方には栄養価の高い捕食の取り方等を説明しております。外来の患者様には医師からの依頼により、食事相談を行っています。

調理・栄養面で御相談がある患者様は、お気軽に医師・看護師を介して栄養科にお問い合わせ下さい。

(栄養科 鴨志田 聡)



歯科医療最前線 矯正歯科：第二回 『見えては困るものを見えなくする！』
：インビザラインを用いた見えない矯正治療
矯正歯科・科長 横 宏太郎

前回のお話は、「見えないものを見る」というお話でしたが、今回は逆に、「見えると困るものを見えなくする」という話題です。

ご存知のように、日本には伝統的に「隠す」文化が存在します。女性が笑う時には口元を手で隠すというものその例でしょう。奥ゆかしさや謙遜を表し、美しさにも通じます。そのような文化的背景もあってか、「矯正装置が見えると困る」とおっしゃる方も結構多くいらっしゃいます。そこで、当科では、インビザライン (Invisalign®) という透明な矯正装置を、アジア地区で初めて導入致しております。

この装置は、透明な歯にかぶせるトレー(アライナーと呼ばれます)を2週間に1セットずつ使用することで歯を動かしてしまう装置です。ご自分で食事や歯磨きの際には取り外しができる上に、透明なため、他人には全く気付かれません。

まず、歯列の精密な型を米国に送り、コンピュータシミュレーション技術を用いて、それぞれの患者さんに最も適すと考えられる移動経路を担当医がインターネット上で設定します。その後、その移動過程を250ミクロンずつ動かした状態で装置が作製され、本院に送られて来ます。

当初は、欧米人の軽い「でこぼこ」の歯を治すだけに使われておりましたが、本院では、部分的に従来のワイヤーを用いる方法と組み合わせることによって、歯を抜かなければならない症例など多くの不正咬合に対応できる手法が開発されております。歯の動かし方から素材に至るまで、従来の矯正装置とは一線を画するものです。



透明な素材の矯正装置



上の歯に装置があるのが見えますか？

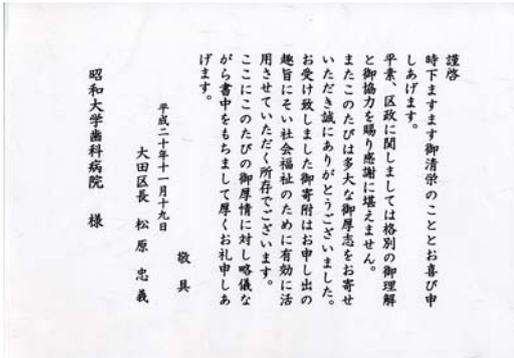
病院長、歯科放射線学の国際学会を主催



アジア各国の代表とともに、多目的ホールである能舞台の前で
(ほぼ中央に岡野病院長)

第7回アジア口腔顎顔面放射線学会議が去る11月20日から22日まで、岡野友宏・本歯科病院長の大会長のもと、紅葉真っ盛りの奈良市・奈良県新公会堂にて開催されました。アジアをはじめ欧米各地から約400名の参加がありました。アジアの歯科放射線の現状と将来に関するシンポジウム、歯科用コーンビームCTやデジタル画像の標準化に関するワークショップ、16の全体講演や教育講演、5つの臨床実技指導に加えて120題の学術発表、20社の技術商業展示と盛りだくさんの内容でした。社交プログラムとして能の公演、東大寺元管長のガイドによる国宝の参観、法隆寺参拝・シャープ工場見学が行われました。次回は2010年同時期にソウルで開催される予定です。

健口フェスティバル ご報告



11月8日の健口フェスティバルに、ご参加下さりありがとうございました。健口フェスティバルの収益金を大田区の福祉関係に寄付させていただきました。

皆様のご協力に感謝いたします。

(管理課)

障害者用駐車スペース改修工事

車椅子等で来院される方のため、11月15日(土)に3台分の駐車スペースを2台分の障害者用駐車場に改修工事いたしました。「自動車のすぐ横に車椅子を付けることができ大変助かる」とのお礼の投書も頂きました。また、車止めが3つあり、真ん中の車止めが車体に当たるとの指摘があり、即日撤去いたしました。全体の駐車台数が1台減となりましたが皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(管理課)



夜間想定防災訓練

12月4日(木)午後3時より夜間を想定した防災訓練が行われました。病棟談話室から夜間に火災発生との想定で、これに対応するのは当直医・夜勤看護師・守衛のごく限られた人員のみとなります。独歩・護送・担送患者役で各部署から数名出いただき皆様のご協力により無事終了しました。患者様には放送や非常ベル等で大変ご迷惑をおかけいたしました。訓練に参加した方は消火器や屋内消火栓の使用方法・避難誘導方法等勉強になったことと思いますが、この訓練を活かすことなく火事の起こらない病院であり続けることが一番重要なことです。皆さん火元に(電気配線にも)十分ご注意ください。

(管理課)



編集後記

本年も残り僅かとなりました。今年は北京オリンピック、サブプライム問題、オバマ旋風、ノーベル賞日本人4名受賞、円高などいろいろありましたが、世間がどう変わろうと、昭和大学歯科病院スタッフ一同は今後とも至誠一貫の精神で真心を持って患者様に最適な歯科医療を提供してまいります。

どうぞ皆様良いお年をお迎え下さい。

KT



真如堂(京都)